



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市陸町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
<http://www.bunsei.ed.jp/>
発行 教務部・学報編集係

辞書を読む

文星芸術大学附属中学校 校長 中山一郎



あなたの座右の書は？
愛読書は？ と問われれば、
しばし考え、辞書と答える
だろう。しかも広辞苑かな
と。

高校に入学した時買った
「角川漢和辞典」、「コンサ
イス英和辞典」は今でも使
っている。大学に入った時、
父からもらったお古の「広
辞苑」は残念ながら今はな
いが、結婚した時に大学の
恩師からいただいた「広辞

苑」は今もある。
しかしである。卒業祝い
でも就職祝いでもなく、結
婚祝いに広辞苑とは不思議
である(とその時は思った)。
後で思ったのだが、一人前
の社会人として一応スター
トするのだからこれを読ん
で社会の教養を身に付けよ
ということではなかったら
うか。

年齢と共に細かい字が読
みづらくなりそうなので第
五版が出た時に机上判を買
ったが、かなりの重量で、文
字通り机上に置くしかない。
最近ではDVD版も出ている
し、電子辞書としたものも
あり、これを使うと軽いし

便利だと思う。しかし、辞書
を読む者としては簡単に飛
び付くことはできない。ペ
ージをめくる紙の触感には
他に代え難いものがある。
一般に、本は「読むもの」辞
書は「引くもの」いう。だか
ら辞書は「字引」ともいい、
物知り・博学の人を「生き字
引」という。
また、本や辞書に熱中し、
多読の人を「本の虫」「辞書
の虫」という。
面白いことに本の紙を喰
う虫もいる。シミ目、シミ科
の昆虫の仲間で、形が魚に
似ているので「紙魚」と漢字
を当てる。
今の本はほとんどが洋紙

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。

学校の最新情報は
「Facebook」を
ご覧ください！

で、虫が付きにくい紙質の
ためか簡単には虫に喰われ
ないが、和紙でできていて
古い書物には、この紙魚に
喰われた跡を見ることがで
きる。ちなみに衣服などに
付いてそれを食べるシミを
「衣魚」と書く、と辞書に出
ている。

美術の授業で、雪舟の水
墨画で国宝の「秋冬山水図」
について勉強するが、絵ば
かりでなく漢詩などを同じ
画面に書いて掛け軸にする
ものもある。これを「詩画軸」
といい多くの名品が残され
ている。その一つに同じく
国宝の「柴門新月図」がある。
そこで問題になるのがそ
の読みである。漢和辞典に
よれば「柴」は「シバ、サイ、
シ」とある。結論をいえばこ
れは「さいもんしんげつず」
という。

柴門は辞書でも「さいも
ん」であり、「柴でできた粗

末な門や扉」の意である。

さて、「シバ」か「サイ」か
「シ」か。辞書読みもだんだ
ん思わぬ方向に展開してき
て楽しくなってくる。
「柴門ふみ」という漫画家
がいる。人名だから「シバカ
ド」とでも読ませる方が素
直だろうか。しかしこれも
「サイモン」である。

Simonを英語の辞書
を引くと「サイモン、人名」
とある。因みに彼女は「サイ
モンとガーファンクル」の
ファンで、ペンネームはそ
こからとったという。
辞書を読むのは小説を読
むくらいに面白い。ところ
が、辞書の中をあちこち漂
流しているうちに最初に引
こうとしていた言葉を忘れ
てしまつて困ることがある。
生徒諸君は学習中に辞書を
読むのはほどほどにした方
が良いかも知れない。

中学校行事予定

- ▽一月
 - 8日(木) 第三学期始業式
 - 9日(金) 前期学力診断テスト(三年)
 - 生徒臨休(一・二年)
 - 13日(火) 学力診断テスト成績発表
 - 24日(土) 総合的な学習
 - 30日(金) 後期学力診断テスト
 - 生徒臨休
- ▽二月
 - 3日(火)～5日(木) スキー教室(一・二年)
 - 7日(土) 学力推移調査(一・二年)
 - 9日(月) 学習会(三年)
 - 立志式
 - 25日(水)・26日(木) 学年末考査
 - 28日(土) スケート教室

高校行事予定

- ▽一月
 - 8日(木) 第三学期始業式
 - 9日(金) 前期入学試験(生徒臨休)
 - 13日(火) 校内漢字テスト
 - 15日(木) 校内漢字テスト
 - 17日(土) 18日(日) 大学入試センター試験
 - 23日(金) 27日(火) 学年末考査(三年)
 - 23日(金) 24日(土) 総念子記述模試(英・普・二)
 - 24日(土) 総合学力テスト(英・普・一)
 - 30日(金) 後期入学試験(生徒臨休)
- ▽二月
 - 14日(土) 新入生一日入学
 - 19日(木) 27日(金) 学年末考査
 - 事前学習指導(普・総)
 - 予餞式・予餞会
 - 27日(金) 第三学年修了式
 - 同窓会入会式
- ▽三月
 - 1日(日) 第67回卒業証書授与式

高等学校

雄飛祭

今年度の雄飛祭もたいへん盛り上がる事ができました。テーマ「証(あかし)」のもと、生徒・教員が一体となって準備を進め、たくさんの方々に笑顔を提供できました。

一日目は、オープニングセレモニーということで、全校生徒が一体となり、明日に向けての意識を高めた見事なステージ発表が行われました。二年ぶりに開催されたミスコンや、カラオケ、和太鼓演奏などみんなを楽しませてくれました。

二日目は、天候にも恵まれ、またゲート係が一学期から準備を進め制作した大規模なゲートのおかげもあり、たくさんの方々が来場してくれました。各クラス・部活等の催し物では、趣向を凝らしたものが多数出そろい、たくさんの方々楽しんでくれていたのはもちろん、本校生徒も楽しめたと思います。

生徒たちの日頃みせることのない表情や才能を發揮できたことで、本年度の雄飛祭も大成功を収めることができました。

生徒会から こんにちは!



生徒会長 小森 巧
舞木 (普通科3年4組)

こんにちは。生徒会長の舞木巧です。

さて今回は、二期期に行われた文星の二大イベントである「雄飛祭」「秀文杯」を振り返ってみたいと思います。まずは雄飛祭。一日目のオープニングセレモニーでは、和太鼓演奏、中学生による合唱やダンスなど素晴らしい発表がありました。また、ミスコンでの盛り上がりは見ていてとても楽しめました。観客からは悲鳴が聞こえた気もしましたが、(笑)。

一般公開日は、天気にも恵まれ、たくさんの方々が足を運んでくださり、去年以上の盛り上がりだったと思います。

秀文杯では、(綱引きの綱が切れてしまうくらい)各クラスが全力で取り組んでいて、清々しい気持ちになりました。

三年生は高校生活もあとわずかとなりました。「感謝」を忘れずに残りの高校生活を過ごしていきたいと思えます。

秀文杯校内体育大会

今年度は新たに女子生徒も加わり、より一層盛り上がった体育大会になりました。おそろいのユニフォームを着て、競技に打ち込む姿からは、クラスの一体感や団結心が感じられました。熱戦が続いたため、表彰式ができませんでしたが、この場で大会結果を報告させていただきます。

《一年生》
総合優勝 (46点) 五組
準優勝 (33点) 四組
第三位 (20点) 八組

【大縄跳び】
一位 四組 (122回)
二位 五組 (90回)
三位 十三組 (55回)

【綱引き】 【二人三脚】
一位 五組 一位 五組
二位 十三組 二位 四組
三位 一二組 三位 九組
九組

【ムカデ競争】 【リレー】
一位 五組 一位 八組
二位 四組 二位 五組
三位 八組 三位 四組



《二年生》
総合優勝 (30点) 十二組
準優勝 (23点) 一組
第三位 (21点) 七組

【大縄跳び】
一位 六組 (88回)
二位 十二組 (71回)
三位 一組 (70回)

【綱引き】 【二人三脚】
一位 七組 一位 一組
二位 八組 二位 十二組
三位 六組 三位 十一組
十一組

【ムカデ競争】 【リレー】
一位 三組 一位 十二組
二位 二組 二位 七組
三位 十一組 三位 十三組

《三年生》
総合優勝 (37点) 四組
準優勝 (27点) 七組
第三位 (26点) 一組

【大縄跳び】
一位 四組 (110回)
二位 一組 (88回)
三位 七組 (75回)

【綱引き】 【二人三脚】
一位 六組 一位 四組
二位 五組 二位 七組
三位 二組 三位 九組
七組

【ムカデ競争】 【リレー】
一位 一組 一位 四組
二位 十二組 二位 七組
三位 二組 三位 十二組

チャレンジ日光ロード 2014

十一月十五日(土)、英進科では「チャレンジ日光ロード」を開催しました。三年生の合格祈願もかね、東照宮から本校までの38キロを強歩。朝8時に東照宮を出発し、夕方の4時30分には参加者全員が完歩しました。その生徒達の感想です。

日光ロードを終えて
一年三組 新部 友崇

38キロを歩くことがどのくらい辛いのか見当がつかず不安だったが、みんないろいろなことを話しながら歩いてみると、つらいという気持ちは消え、意外と楽に完歩することができた。

しかしゴール後、学校で豚汁を食べていたとき、下半身のあらゆる関節が痛くて驚いた。

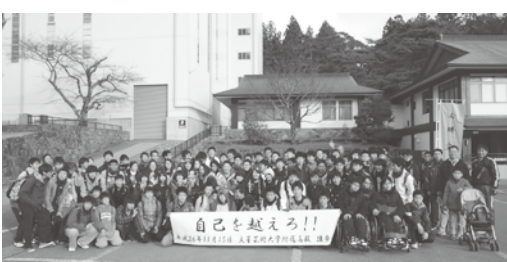
三年生の教室に「受験は団体戦」というスローガンが掲示されている。日光ロードを終えた今、「どんな困難も友だちがいれば乗り越えられる」と考えることができ、とてもよい経験ができた。

日光ロードに参加して
一年一組 小森 史香

チャレンジ日光ロードで学んだことはプラス思考の大切さである。長い道のりを歩く中、やめたいとか、無理だとかマイナスのことを考えてしまった。でもそれは、ますます体力ややる気を消耗させた。

ここで諦めてしまったらきっと後悔すると思い、自分なら必ずできると思いながら歩くと、動かなかった足も動くようになり、最終的には女子の一番で完歩することができた。

人生において困難なことがあったとしても、まずは自分を信じて、積極的に取り組もうと思った。



スタート前の集合写真

輝け!! 文星健児 部活動報告

この冬、三つの部活動が全国大会、二つの部活動が関東大会に駒を進めます。大会を目前に控えた選手達の意気込みを紹介します。

※(英) 英進科 (普) 普通科

バスケットボール部 (ウィンターカップ)

十二月二十四日 東京都 県予選では、多くの方の支えや応援もあり、優勝することができました。ウィンターカップでは、日々の練習の成果を存分に発揮し、一つでも多く勝ち、全国の舞台で躍動できるように、チーム一丸となって頑張ってきたと思います。



初戦の相手は対聖和学園(宮城)です。

卓球部

全日本選手権ダブルス

菊池真澄・鈴木誠組

(一月十三日 東京都)

私が、全日本卓球選手権大会に出場できるのは、今まで支えていただいた方々のおかげです。全力を尽くしライオン主義で戦いたいと思います。皆さん応援よろしくお願いします。

菊池 真澄(普三年)

関東高校選抜卓球大会

(十二月二十日・二十一日)

三年生が引退し、新チームになり初めての関東大会です。団体戦での出場なので文星卓球部の持ち味である元氣と団結力で全国選抜大会に勝ち進みたいと思います。皆さん応援よろしくお願致します。

主将 長木 駿弥(普二年)



テニス部

関東高校選抜テニス大会

(十二月二十四日から)

二十六日 千葉県

テニス部には笑顔の絶えない、個性豊かなメンバーが揃っています。この最高のメンバー達と出会えたことをうれしく思います。ライオン主義で一戦一戦頑張ります。

主将 神野 空(普二年)



初戦の相手は浦和学院(埼玉)です。

硬式野球部

県一年生大会

初優勝



1年主将 橋浦 悠斗

《大会を振り返って》

一年生大会で初めての公式戦。初めはとても緊張しましたが、一試合一試合皆の力で戦ったことで、徐々にチームがまとまりました。

接戦もありましたが、優勝することができ大変嬉しかったです。この勢いのまま来年の夏も勝ち続け、先輩達と甲子園に行きたいです。

将棋部

全国高文連将棋新人大会

(一月二十九日から)

三十一日 新潟県



福田 雄太 (普1年4組)

これまでの大会での反省を踏まえて臨んだことが今回の結果につながったと思います。全国大会では上位入賞を目標とし、自分の力を出し切れるよう精一杯頑張ります。

駅伝部

関東高校駅伝競争大会

(記録) 2時間18分01

柔道部

県高校新人柔道大会

(73kg級)

小川知宏(普一年) 準優勝

剣道部

中部支部新人剣道大会

佐藤 有(普一年) 優勝

検定試験取得状況 (十二月現在)

第52回全商ビジネス文書検定

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

【二級】

【速度部門一級】

- List of names and their exam results for various departments like 文書部門, 速度部門, and ビジネス部門.

中 学 校

雄 飛 祭

今年度の雄飛祭は、各クラスの出し物に加え、三年生がゴスペルを披露しました。昨年までとは、また一味違う雄飛祭になったかと思えます。

各クラスとも、時間をかけて準備した出し物を、多くの来校者に見てもらおうとで得た喜びがあったのではないのでしょうか。



中3 ゴスペルを披露

中学校生徒会会長

薄羽 珠ノ介

今年の雄飛祭のテーマは「証(あかし)」でしたが、この言葉には、ある事柄を明らかにすること」という意味があります。

私たち中学生は、全てのクラスが雄飛祭に向け頑張

つてきました。そして、雄飛祭当日には、それを証明するため、それぞれが自分の役割をしっかりと果たし、また、楽しむことが出来ました。

生徒会では、昨年と同様に各クラスの企画案を放送し、BGMも流しました。昨年までになかった新しいことをするまでには至りませんでした。が、来年の生徒会では是非新しい試みを実現し、新たな「証」にしてもらいたいと思います。

二年一組

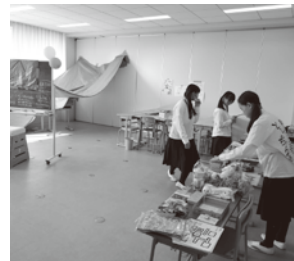
私たちは茶道の陰立てをしました。一五〇人以上のお客様が来て下さいました。小学生の時は客として参加した雄飛祭に、今年もてなす側で参加し、相手の気持ちを考えることを学びました。



1-1 お茶のおもてなし

二年一組

私たちは、「としちゃん家」という名前で、バカッコイイ動画と巨大ボウリングと射的をやりました。動画は何回も撮り直して完成させることができました。今回の雄飛祭を通してクラス全員で団結することができたと思います。



2-1 としちゃん家

二年二組

私たちはシークレットなカジノを行いました。カジノらしさを出すために扉、壁など、教室中を赤と黒で埋めつくしました。二五〇名以上の多くの方が足を運んで下さり、盛り上がりました。



2-2 シークレットカジノ

三年一組

私たちは「縁日inラスベガス」という名前でゲームをやりました。参加した方に楽しんでもらえるようゲームの内容だけでなく、「接客」も意識して行いました。楽しんでいただけましたか。



3-1 縁日inラスベガス

三年二組

私たちは、短編映画の製作・上映を行いました。なかなか完成しないまま当日の朝を迎え、一般入場の時間になってやっと仕上がりました。かなり焦りましたが、無事完成し、たくさんのお客様に見ていただけるとても楽しかったです。



3-2 オリジナル映画上映

ハイキング

中学生は、上野秀文先生の御命日にあたる十一月五日(水)に、奥日光方面へハイキングに行ってきました。紅葉はピークを過ぎていましたが、生徒たちは大自然に触れリフレッシュできたことと思います。

一年生 赤沼、光徳牧場
二年生 湯元、赤沼
三年生 西ノ湖、赤沼



1年生 泉門池



2年生 湯湧



3年生 西ノ湖

食の安全ゼミナール

十一月二十二日(土)に、宇都宮市保健所の方を講師としてお迎えし、食の安全についての話を聞きました。生徒が積極的に参加できるようなクイズ形式の講演で、楽しく食の安全について考えることができました。



講演の様子

薬物乱用防止教室

十一月二十五日(火)の五、六校時に劇団三十六計による薬物乱用防止演劇を鑑賞しました。薬物乱用や危険ドラッグについて学ぶ良い機会となりました。



薬物乱用防止劇

芸術体験

中学生は、毎年この時期に行われている文星芸術大学での芸術体験に、十二月十日(水)に行ってきました。学年ごとに様々な体験をしてきました。

一年生は日本画の模写、二年生は染色、三年生はパソコンソフトを使いキーホルダー作りをしました。

生徒の感想

一年一組 廣田 汐音

私は文星芸術大学での芸術体験で鳥獣戯画の模写をやりました。初めに和紙や絵の具の話をお聞きしました。絵の具が全て自然のものでできていると聞いてとても驚きました。今回は鳥獣戯画に想像で色をつけました。色を濃くしたり薄くしたりするのが難しかったです。なかなかできない体験ができたので、とてもうれしかったです。



鳥獣人物戯画の模写

二年二組 入谷 紗菜

私は、十二月十一日に文星芸術大学で染物を体験しました。今回は、紅型染という沖縄の染め方をやりました。最初は明治時代初頭には実際使われていた型紙を見ました。人の手で彫ったとは思えないほどの細かい模様でも驚きました。

次に実際に布に描いてある模様を染めました。今回、初めて使う道具ばかりで大変でしたが、慣れてくるととても楽しくて、上手に染めることができました。最後はのりを水で落として、世界に一つだけのハンカチができました。

他では体験できない貴重な体験をさせていただけてとてもうれしかったです。



染色体験

三年一組 那須 彩華

中学校最後の芸術体験を行いました。今回はパソコンのイラストレーターというソフトを使って、キーホルダーを作りました。私はあまりパソコンの操作が上手ではありません。しかし、講師の先生が丁寧に操作の説明をしてくださったのでわかりやすかったです。

まず、パターン設定で柄を作りました。簡単な図形で用意されたデータで作業し、キーホルダーの表を完成させました。次に効果機能を使ってネームロゴを作りました。ジグザグ効果などを使用しました。両面を印刷し組み立てて完成です。少し難しかったですが、楽しかったです。

新しくパソコンの知識が増えて良かったです。最後の芸術体験を終え少し寂しい気持ちですが、これからも芸術に興味を持ち続けたいです。



キーホルダー作り

各種表彰関係

税についての作文
栃木県議会議長賞

三年 南部 萌

第六十回青少年

読書感想文コンクール
佳作 三年 謝 有佳

永井 友理

第四十七回下野教育書道展

銅賞 一年 廣田 汐音
奨励賞 二年 中根 菜摘

英語スピーチコンテスト

十月二十日(月)に宇都宮市教育センターにて、宇河地区中学校英語スピーチコンテストが行われました。本校からは、各学年の代表三名が参加し、日頃の練習の成果を十分に発揮してき

ました。

優良賞 三年 謝 有佳
二年 菊池 香陽
一年 中里 敬介

実用英語技能検定

入選 三年 黒田 燎

二級 三年 狐塚 葉月
準二級 三年 薄羽珠ノ介

岡崎 陸
野口 一樹
岡本 潮音

文星散歩道

(題字 大木校長)

③ 『古き良き中学時代』

渡 邊 (美術科)

私が中学生のころは、高校入試科目が九教科から五教科に変わった時代です。

高等学校への進学率がある年を境に急上昇した、大きく時代が変化したころです。

私の一、二才上の先輩は集団就職で東京に行ったり、九州に行ったりし、高校へ進学する人は少数でした。ところが、私が中学三年生になると時代は大きく変わり、高校進学者は多数を占めることになったのです。

昭和三十九年の東京オリピック以来、日本は高度経済成長を続け、私の中学三年間は社会のすべてにおいて急成長を見て取ることができました。東海道新幹線が走り始め、カラーテレビが普及し始め、高速道路が造られ、日本列島大改造が始まったのです。

社会の高度成長と同時に学校も大きく変わりつつあり、活気に満ちあふれていました。定期テストの結果は、順位を名前で張り出され、次は負けられないと、必死になって勉強に頑張った

ものでした。ある部が大会で優勝したと聞くと、次は我が部が絶対優勝だと死にも狂いで練習に励んだものでした。

今思うと不思議なことに、中学時代は勉強すればそれだけ結果が良くなり、部活動で練習すればするほど強くなって上手になったものでした。今の時代は競争意識だけで努力は生まれませんが、必死になって努力したことは結果はどうあれ、自分を決して裏切らないことは事実のようです。

文星フォトギャラリー



雄飛祭



秀文杯



中学校/ハイキング